

作用シンポジウム, 1996, 11, 徳島.

- 15) 清水貴浩, 大野護, 酒井秀紀, 竹口紀晃:
ヒト肺小細胞ガン培養細胞のカチオンチャンネル.
第18回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム,
1996, 11, 徳島.
- 16) 五十里彰, 佐野公美, 酒井秀紀, 竹口紀晃:
ウサギ胃酸分泌細胞のcGMP感受性Cl⁻チャンネル
と細胞防御. 第18回生体膜と薬物の相互作用シン
ポジウム, 1996, 11, 徳島.
- 17) 池田敦, 竹口紀晃: プロトンポンプ阻害剤
の胃壁細胞内Ca²⁺濃度に及ぼす影響. 日本薬学
会北陸支部第95回例会, 1996, 11, 金沢.

◆ その他

- 1) 竹口紀晃: 肝臓における解毒作用と解毒ポン
プ. 平成8年度富山医科薬科大学公開講座.
1996, 6, 富山.

薬学部附属薬用植物園

薬用植物園研究室

園長(併任)	百瀬雄章
助教授	有澤宗久
助手	鈴木正一
技官	藤野廣春
技官	辰尾良秋
技官	山崎紀仁

◆ 原 著

- 1) Suzuki S., Hayashi T., Kasahara K., and
Arisawa M.: Seed Germination and Diterpenoid
Production in Seedling of *Scoparia dulcis* L.
Natural Medicines, 50: 265-268, 1996.

◆ 学会報告

- 1) 鈴木正一, 藤野廣春, 辰尾良秋, 山崎紀仁, 有澤
宗久: オオバナオケラにおける種内変異とその育種
的利用. 日本育種学会第89回講演会, 1996, 4,
川崎.

◆ その他

- 1) 鈴木正一, 藤野廣春, 辰尾良秋, 山崎紀仁: 生
産性からみた朮類基原植物の評価と生薬の特性.
平成7年度「和漢薬・バイオテクノロジー研究」
研究報告書, 68-73, 1996.